

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいずリズム大曲（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～	令和8年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		～	令和8年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の支援目標、留意事項を職員が共有し、一貫した関わりや安全に配慮した環境づくりや支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> 朝、昼、夕と活動の前後にミーティングを行い、適切な支援方法を話し合い、確認している。また、課題があがった際には、検証をするとともに、意見を出し合い、実践、振り返りを積み重ね、より良い支援につなげている。 共有事項ボードの活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ワンチームで子どもの成長を支えていく。 一人の問題として抱えるのではなく、報告、連絡、相談を大切に、療育の方向性を同一にしていく。
2	音楽プログラムは集団活動、その他の活動では小集団活動の時間構成をしている。	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活における協調性や社会性等を育み、楽しい雰囲気の中で、集団生活のルールに触れながら活動。 小集団活動（グルーピング）で発達別に活動。レベルに合った活動で挑戦意欲をもちやすく、達成感を味わえる活動を組み合わせで行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小集団での活動実施の継続と個別訓練の検討。個に合わせた言葉の訓練なども提供できるようにしていき、成長を支援していきたい。
3	言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーションの向上に向けた支援ができています。	<ul style="list-style-type: none"> 言葉で思いを表すことが難しい児童に対して、視覚情報を使ったり、音楽というツールを活用して自己表現を促したりできるように心がけている。 また、保護者に子どもの様子や成長を様々な方法で子どもが表してくれていることを感じれるような伝え方を意識し、喜びを共有したり、効果を実感したりしてもらえるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 感じたことを音や表情で表出できる機会や方法を増やす。 子どもたちの可能性を最大限に引き出しにいけるようにする。 活動の目的、効果をしっかりと把握していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との信頼関係の構築を継続していく。	<ul style="list-style-type: none"> オープンしてから数カ月で、利用回数によっては保護者様とやり取りをする機会が満足に得られていない可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様とのやり取りを丁寧に行い、信頼関係の構築に努めていく。 送迎時、連絡帳でのやり取りやラインなどのツールを利用。（活動の様子、内容） 保護者様から家庭での様子等を聞くなかで、日々の悩み等を相談しやすい関係性を築いていく。
2	避難訓練など、非常災害の発生に伴う避難訓練の実施。避難訓練年間計画で今年度中に実施予定であったが、もう少し早めに実施が必要であったと考える。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に向け、職員間で必要な役割、一次、二次避難場所の確認、緊急連絡先を会社携帯電話に登録等は行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水害、地震、火事、不審者訓練の実施。様々な場面を想定、職員編成の中で行う。 保護者への周知。 新規児童、都度、緊急連絡先を登録。円滑に保護者と連絡が取れるようにする。 契約時に、水害等の避難について説明する。
3	保護者同士の交流や研修の機会をつくっていく。	<ul style="list-style-type: none"> オープンから間もないこともあり、ペアレントトレーニングなどを実施する機会を設けることができていない。子どもたちが新しい場所、活動に慣れることを優先していたため授業参観なども未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度、ペアレントトレーニングを実施。家庭での子育てのヒントとなるように場や機会の提供をしたり、授業参観を行い、子どもの成長や様子を見たりしてもらえる機会をつくっていく。